

学習内容報告書 フォーマット

学校名	都城市立笛水小学校・笛水中学校（笛水小中学校）
授業者	眞鍋 和人

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海を守る
------

1-2. 学年

全学年
-----

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合、理科
-------

1-4. 単元の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 笛水地区がある、都城市高崎町を流れる川の水質調査及び、そこに生きる生物についての学習</li> <li>・ 海洋教育を通して取り組んだことや考えたことの、保護者への発信</li> <li>・ タブレットなどのICT機器を活用してプレゼンテーションにまとめ、発表する学習</li> <li>・ 自ら興味をもったことを、自由研究として調べまとめる学習</li> </ul>
---

1-5. 単元設定の理由・ねらい

<p>高崎町を流れる川を調査することで、川と海とのつながりやそこに生きる生き物について考えることや、1学期及び2学期に学習したり体験したりしたことを通して考えたことを、プレゼンテーションにまとめることで、学習したことを整理して聞き手に伝わる方法について考え、工夫することをねらいとしている。また、興味をもったことを自由研究にまとめることで、探究の過程について学習することをねらいとしている。</p>
---

1-6. 育みたい資質や能力、態度

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然に親しみ、自然保護への関心を高める。</li> <li>・ 森とダム、海との関係について学習したことを整理し、発信することができる。</li> </ul>
--

1-7. 単元の展開（全 12 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>(1) オリエンテーション これまでの学習内容のまとめ方についての説明を聞く。</p> <p>(2) 役割分担の決定 学習・体験活動ごとに役割を決定する。</p>	<p>&lt;教師の指導&gt; タブレットなどのICT機器のよりよい活用ができるよう支援する。</p> <p>&lt;主な評価&gt; ICTを活用しながら資料の整理ができた。</p>

2	<p>(1) 課題研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習してきたことから課題をみつけ、自由研究としてまとめる。</li> </ul>	<p>&lt;教師の指導&gt;</p> <p>体験活動や施設見学などの中で、さらに調べてみたいと思ったことを課題とし、研究が進められるように声かけを行う。</p> <p>&lt;主な評価&gt;</p> <p>海水やマイクロプラスチックについての自由研究をまとめ、都北科学展に出品することができた。</p>
4	<p>(2) 海洋教育についての発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海洋教育を通して取り組んだことや考えたことの、保護者への発信</li> <li>・ タブレットなどのICT機器を活用してプレゼンテーションにまとめて発表する学習</li> <li>・ 自ら興味をもったことを、自由研究として調べまとめる学習</li> </ul>	<p>&lt;教師の指導&gt;</p> <p>タブレットなどのICT機器のよりよい活用ができるよう支援する。</p> <p>&lt;主な評価&gt;</p> <p>ICTを活用しながら資料の整理ができた。</p>
4	<p>(3) 中学校3年生理科の学習と関連させて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水辺の教室で行った水質調査の結果などを活用し、環境保全の必要性について考える。</li> </ul>	<p>&lt;教師の指導&gt;</p> <p>自然環境の保全の必要性について、自分の考えをたくさん発表できるような手立てをとる。</p> <p>&lt;主な評価&gt;</p> <p>根拠をもとに考えを述べることができた。</p>
1	<p>今までの学習を振り返り、取組をまとめる。</p>	

## 2. 学習活動の実際

### 2-1. 単元における位置づけ

単元 1 2 時間中の 1 1 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

- 地球規模でのさまざまな環境問題を理解し、自然界のつり合いを保つ必要性を考えることができる。
- 身近な環境の調査結果と関連付けながら、地球規模での環境問題を理解することができる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 海辺の教室で学習したマイクロプラスチックの話や、ダム見学の話、環境問題などについて振り返る。</p> <p>2 本時の課題と学習内容を確認する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;本時の学習課題&gt; 自然環境を保全することは、なぜ重要なのだろうか。</p> </div> <p>3 海洋教育で学んだことや新たに調べたことをもとに、自然環境を保全する重要性について主張する内容を考える。</p> <p>4 自然環境を保全する重要性についての自分の考えを発表する。</p> <p>&lt;生徒の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然環境を保全することに意味はある。</li> <li>・ 自然環境の保全にはつり合いが重要である。</li> <li>・ マイクロプラスチックなど自然の中だけでは無くなるものでも生き物が死んでしまう。</li> </ul> <p>5 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>将来にわたって生物が生存するには、自然界のつり合いを保つ必要があるから。</p> </div> <p>6 自分の考えをまとめる。</p>	<p>&lt;準備物&gt; 今までの調査結果など、ワークシート</p> <p>&lt;教師の指導・支援&gt; たくさんの情報の中から、自然環境を保全することの意味として、自然界のつり合いを保つ必要があることを見いださせるために、根拠をもとに主張したい内容を精選させる。</p> <p>&lt;評価の視点&gt; 地球規模でのさまざまな環境問題を理解し、自然界のつり合いを保つ必要性を考えることができる。(科学的な思考・表現) (ワークシート)</p>

3. 今回の活動の自己評価

- 実際に水質調査や自由研究などの活動をしていたことで、より実感をともなった意見交換をすることができた。
- 持続可能な社会をつくっていくことをどのように考えて、実践していくかを考える機会が必要だと感じた。

4. 今後の課題

- 環境問題などの対策について、校内で取り組めることはないか話し合う時間を設定すること。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

授業で扱ったワークシートあり